

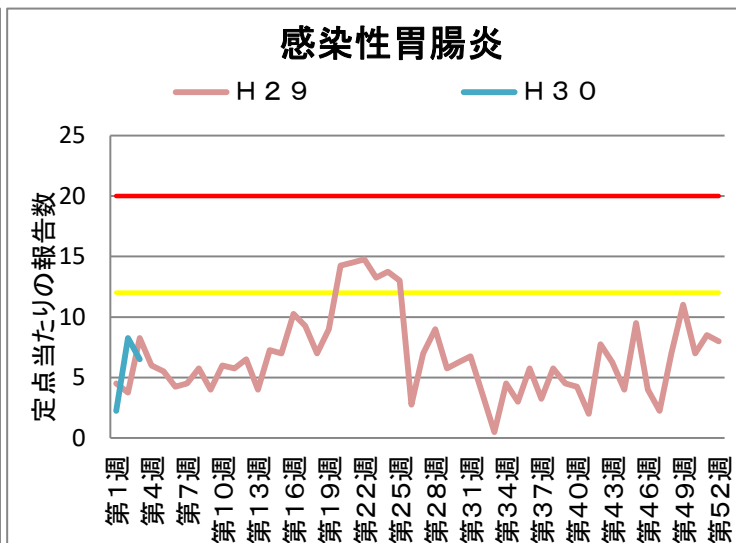
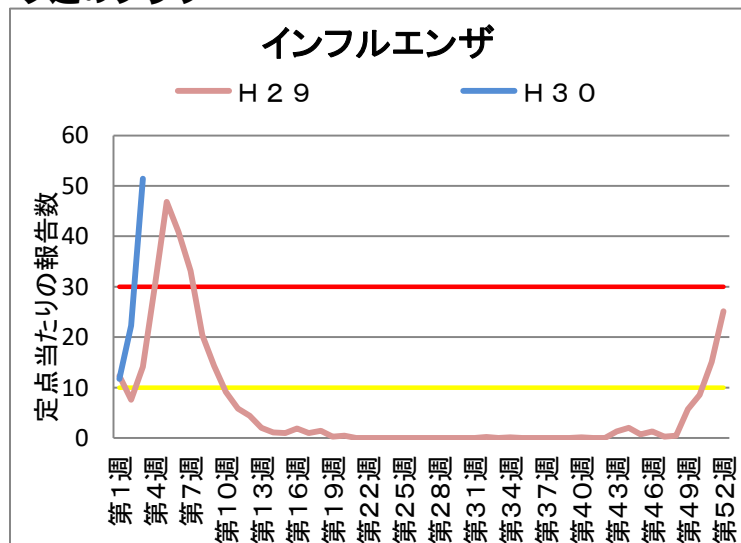
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 3 週 平成30年1月15日 ~ 平成30年1月21日

今週のコメント

- インフルエンザの報告はさらに増加し、昨シーズンのピークを超え、流行警報レベルとなりました(定点あたり 51.43)。
- 今シーズンの全国インフルエンザウイルス分離での検出は、①A(H1)pdm09、②B(山形系統)、③A(H3)の順となっています。
- 感染を予防するために帰宅時などの手洗いを心がけましょう。また、咳症状がある場合はマスクを着用し「咳エチケット」に努めましょう。
- 高齢者や持病のある方はインフルエンザで重症化することがあります。インフルエンザが疑われる発熱等の症状のある方は休養をとり、病院へのお見舞いや高齢者施設などの訪問は自粛しましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	51.43	手足口病	0.25
RSウイルス感染症	1	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.75	ヘルパンギーナ	-
感染性胃腸炎	6.5	流行性耳下腺炎	-
水痘	0.25		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

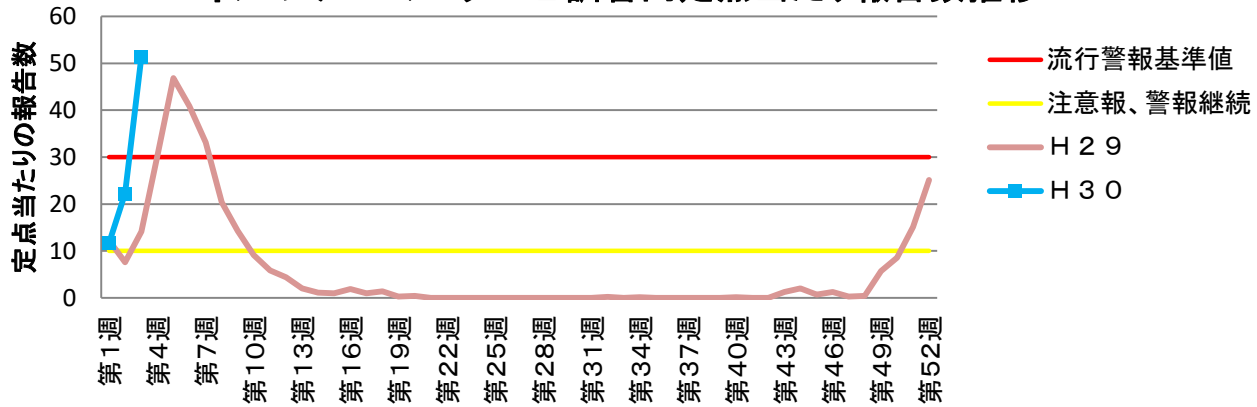
報告週対応表

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

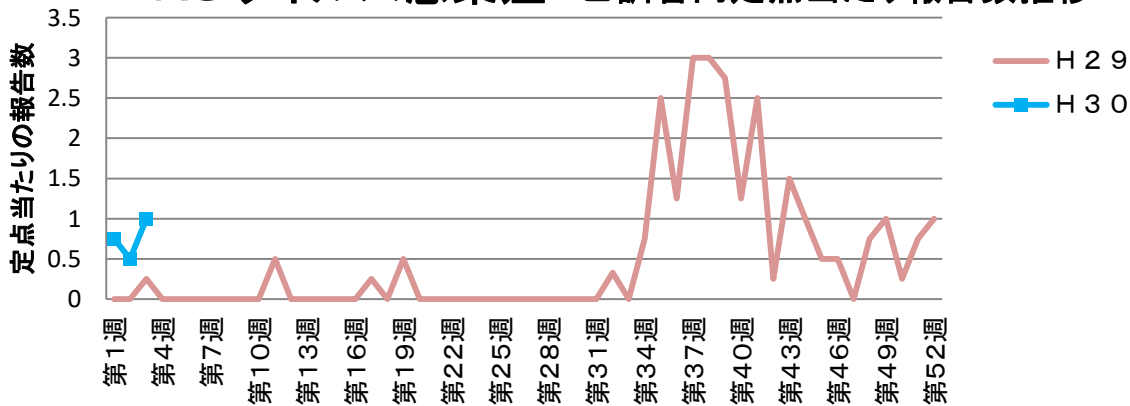
警報・注意報基準値の説明

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

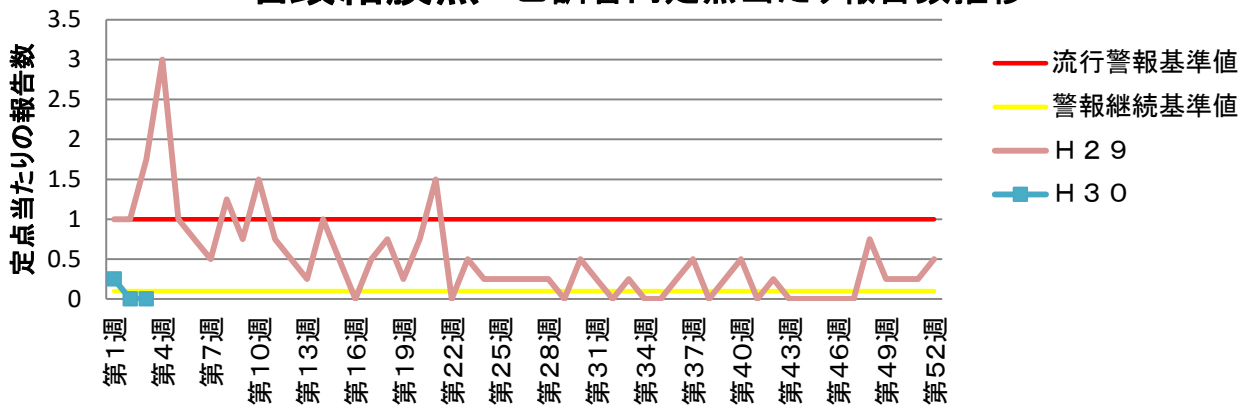
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



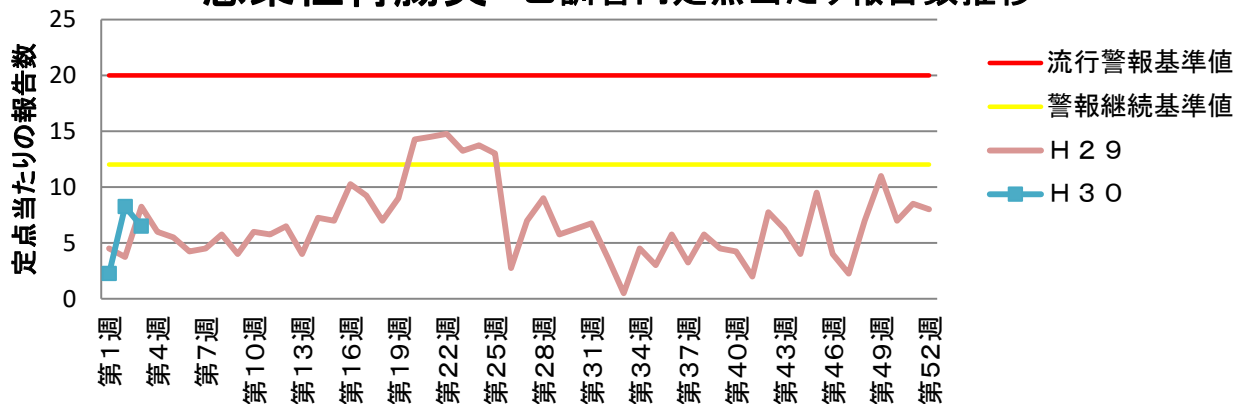
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



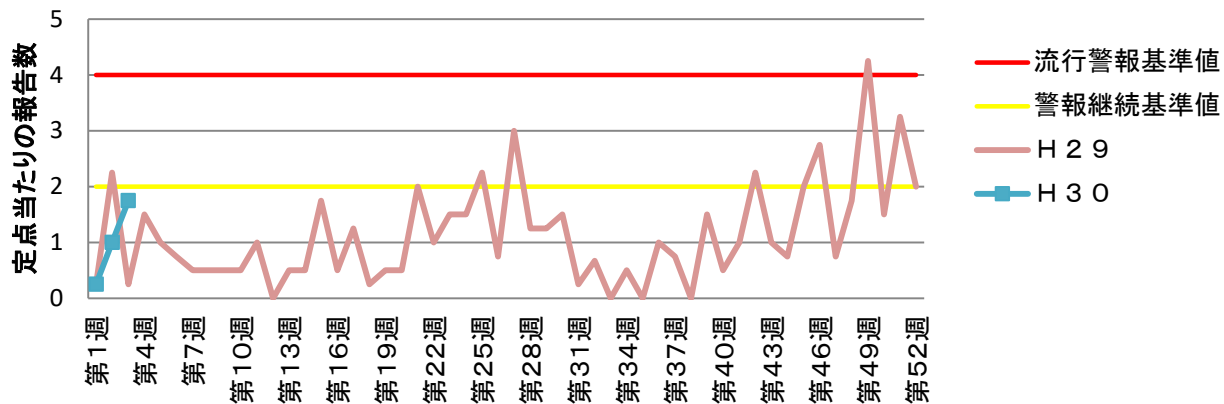
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



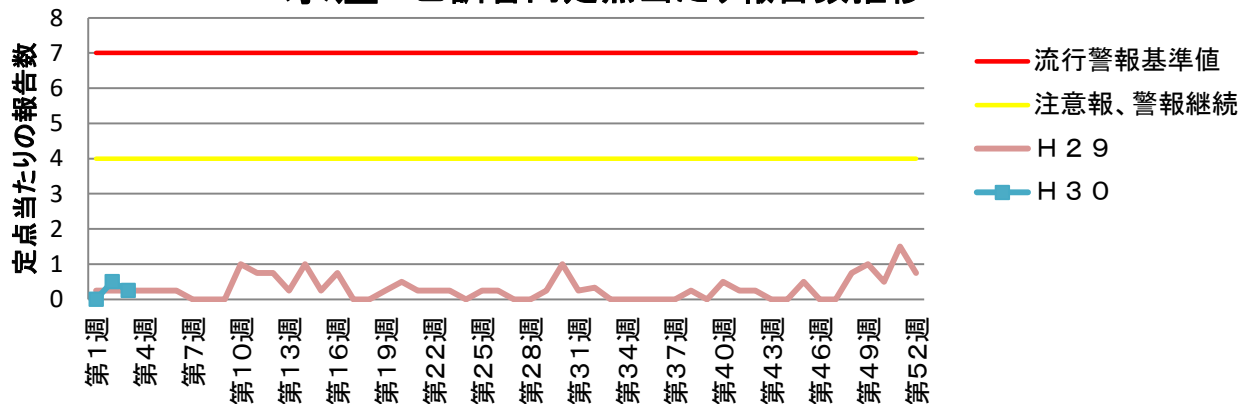
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



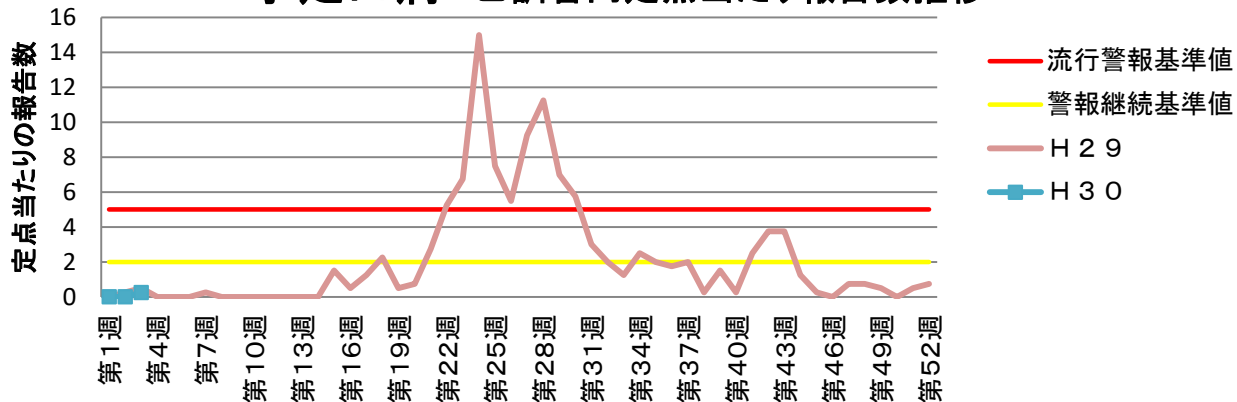
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



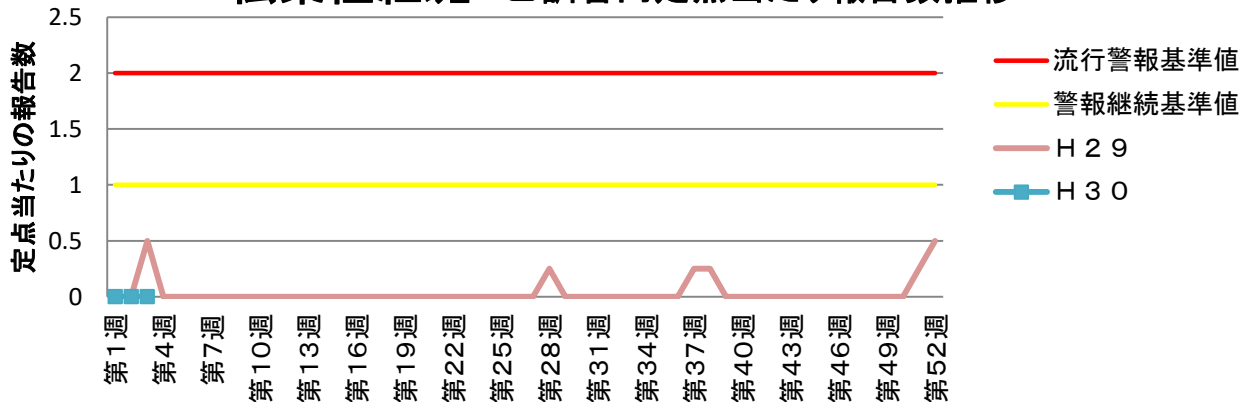
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



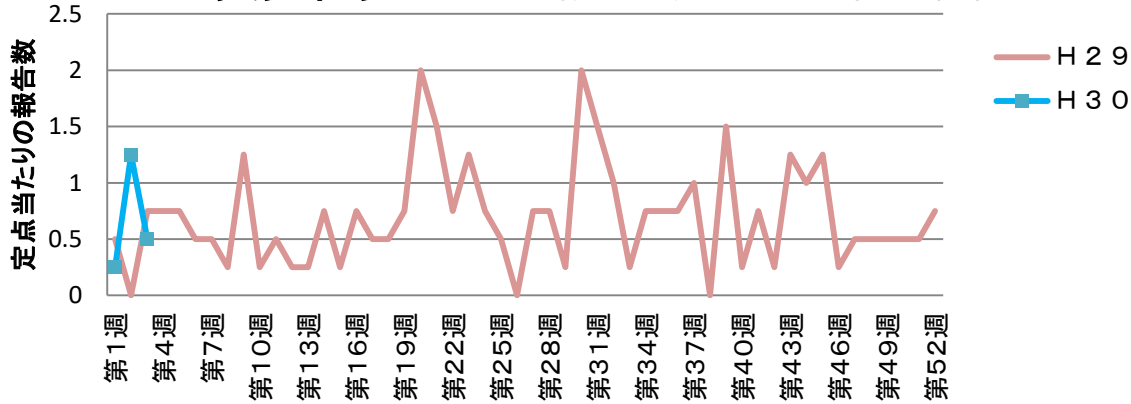
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



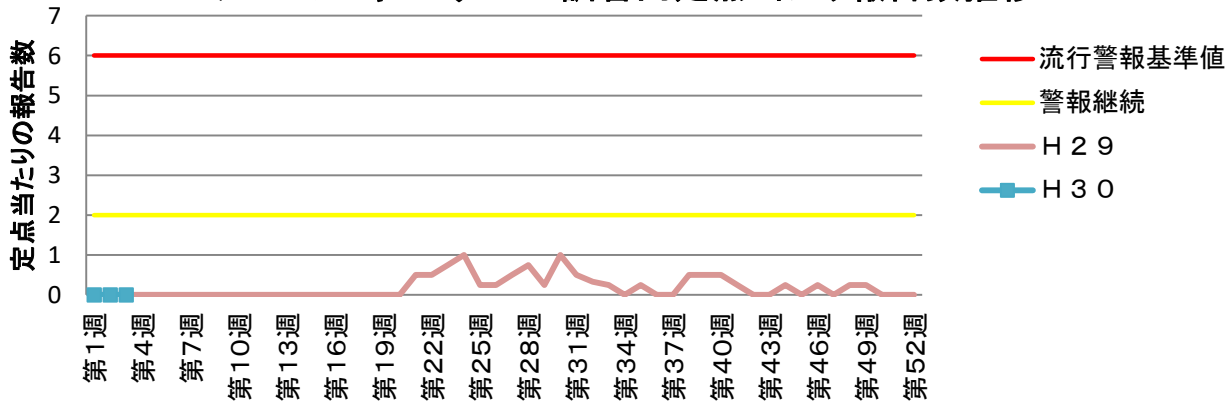
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

